

## 2021 年度

## 授業概要

科目名	老年期障害治療学			授業の種類	講義	講師名
授業回数	8 回	時間数	15 時間 1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期 2年 後期
【授業の目的・ねらい】 高齢者の取り巻く環境や高齢者自身の捉え方、高齢者への作業療法アプローチを理解する。						
【実務者経験】 作業療法士として西広島リハビリテーション病院、介護老人保健施設ベルローゼ等に勤務、老年期のリハビリテーションに従事。						
【授業全体の内容の概要】 高齢者へのアプローチ手法を学ぶ。						
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 高齢者へのアプローチ手法を理解できる。						
回数	講義内容					準備物(教材)
1	老年期作業療法の特徴					
2	作業療法による介入					
3	作業療法による介入					
4	作業療法による介入					
5	作業療法による介入					
6	作業療法による介入					
7	作業療法による介入					
8	作業療法による介入					
	定期筆記試験					
【使用教科書・教材・参考書】 標準シリーズ老年学、作業療法学ゴールドマスターテキスト老年期作業療法学、認知症の作業療法、MTDLP資料						
【準備学習・時間外学習】 認知症とMTDLPは十分理解しておく必要がある。						
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題の評価を50点、定期筆記試験を50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。						